

終了時評価コンサルタントの募集

案件名：バングラデシュ・コックスバザール県ウキア郡におけるミャンマー避難民の保健衛生問題と災害に対するコミュニティ・レジリエンス支援プロジェクト

1. 担当業務、資格など

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 資格：大学卒業後 12-17 年

2. 契約予定期間など

- (1) 全体期間：2019 年 4 月中旬から 2019 年 5 月中旬まで
- (2) 業務日数：国内準備 10 日、現地業務 10 日（渡航 1 回）、国内整理 10 日
*現地業務期間等の具体的条件については、10. 特記事項を参照願います。

3. 提出書類、期限、方法

① 提出書類

- ① 簡易プロポーザル：1 部
調査方針（プロジェクトの評価調査の方法、作業工程、人員体制等）を記載。
- ② 履歴書及び職務経歴書：チームメンバー各1部
- ③ 見積書：1部
- ④ 英語能力認定書の写：1部
- ⑤ 過去の類似業務の成果物：1部

- (3) 提出期限：4 月 5 日(正午 12 時まで)

* 提出された応募書類は締め切りを待たず順次レビューし、締め切り前に募集を打ち切る場合もあります。

- (4) 提出方法：電子データにて提出（提出先：hr@mdm.or.jp）

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは 世界の医療団日本で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2019 年 4 月 9 日（火）までに個別に通知します。

4. 評価項目および配点

- (1) 業務の実施方針など
 - ① 業務実施の基本方針 30
 - ② 業務実施上のバックアップ体制など 10
- (2) 業務従事者の経験能力等
 - ① 類似業務の経験 30
 - ② 対象国又は同類似地域での業務経験 17
 - ③ コミュニケーション能力及び語学力 8
 - ③ その他学位、資格など 5

(計 100 点)

類似業務	各種評価調査、ジェンダー調査
対象国/類似地域	バングラデシュ/ミャンマー
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 必要予防接種：破傷風，A 型肝炎，B 型肝炎，日本脳炎，狂犬病

6. 事業の概要と評価調査の目的

バングラデシュの NGO である Gonosyasthaya Kendra (GK) は、世界の医療団日本による資金・技術協力のもと、もっとも保健医療サービスを必要とするロヒンギャ難民を、一次保健医療に繋ぎ、難民自身の自発的で継続的な栄養・健康管理を促すことを目的に、「ミャンマー避難民の一次保健医療サービスへのアクセス促進のためのアウトリーチ活動（2017年12月1日～2018年4月30日）」を実施した。同活動は難民の中でも特に脆弱性が高い女性、妊産婦、高齢者、子どもを対象とした。同活動の結果、医療サービスを必要としながらも、適切なサービスを受けられていなかった対象者がクリニックで治療、医療サービスを受けようになり、同事業による継続的な訪問や健康教育により、対象難民の栄養と健康に対する知識や意識が改善した。

半面、次のような新たな課題やニーズも確認された。

- ・女性や子どもの健康状態は、男性や家族の意思決定に左右されるところが大きい
- ・14-17歳の青少年は、キャンプ内で提供される教育や雇用機会へのアクセスが極端に制限されており、犯罪に巻き込まれるケース、メンタルヘルスカケアを必要とする率が高い

同結果と、2018年 Joint Response Plan (JRP)におけるヘルスセクターおよび分野横断的な目標に基づき、2018年8月30日からは「バングラデシュ・コックスバザール県ウキア郡におけるミャンマー避難民の保健衛生問題と災害に対するコミュニティ・レジリエンス支援プロジェクト（以下、ミャンマー避難民の保健衛生問題と災害に対するコミュニティ・レジリエンス支援プロジェクト）」を実施してきた。同事業は、地域保健活動の経験者14人をコミュニティモビライザー（CM）として育成し、その下に、支援対象地域のユース40人をヘルスプロモーターとして配置・育成することで、より持続発展性のある地域保健・防災活動の実施体制構築を目指す。そして、特に脆弱性が高い人々だけではなく、地域構成員全員の保健衛生や防災に対する意識の向上と行動の変容を促す活動を通して、地域全体の健康と災害への対応力（コミュニティ・レジリエンス）強化を目標とする。

本終了時評価では、2019年5月15日の事業終了を控え、ミャンマー避難民の保健衛生問題と災害に対するコミュニティ・レジリエンス支援プロジェクトの事業実績と成果を確認、評価し、事業形成の前提となった仮定を検証する。その上で、今後世界の医療団日本が同地域で新たに立ち上げる支援プロジェクトの支援内容・方法についての提言を導くことを目的とする。

7. 業務の内容

同業務従事者は、同プロジェクトの仕組みを十分に把握の上、必要なデータ・情報を収集・整理し、活動実績、計画達成状況の評価と課題の分析を行う。なお、当該事業では、KAP調査による住民の防災・保健知識・態度・行動の変化の把握は、当初からの事業モニタリング・評価計画書に沿って行われる予定である。外部評価では、既存のモニタリング・評価のデータを活用しつつ、特に以下の項目について、理解・分析を深めることに注力する。

- ① 事業によってもたらされた保健衛生・防災に関する知識・態度・行動変容において、年齢層とジェンダーによって、どのような差異があり、どのような外的・内的要因が作用してそのような差異が生まれたのか。成人男女（18歳以上）、男の子、女の子（14-17歳）の間に、主観的に事業のインパクトまたは効果に差異はあったか。
- ② 対象コミュニティの住民の間で、保健衛生・防災の知識・態度・行動の変容はどのように広がっていったか。ジェンダー別に変容の浸透度合いに差異はあったか。男女のユースをヘルスプロモーターとすることで、住民への波及効果が高まるという前提は実証されるものか。
- ③ ヘルスプロモーターとして研修を受けたユースは、研修内容以外にどのようなソフ

トスキルを習得したか。意図したものか否かにかかわらず、研修のアプローチのどのような側面がそのようなソフトスキルの習得に貢献したか。また、ジェンダー別に習得したソフトスキルにどのような差異があり、どのような外的・内的要因がそのような差異に影響したか。

- ④ 14-17 歳の男の子、女の子は、それぞれ、自分たちの現在の生活にどのような問題意識を持ち、将来についてどのような展望を描き、どのような学びのニーズを抱えているのか。社会の固定観念、生い立ちや難民として避難してきた経験、キャンプ内での経験や機会から、なぜそのような学びのニーズが本人にとって重要とされるのか、そのようなニーズを生む背景要因を探る。事業で提供された保健衛生・防災教育は、そのような男の子、女の子の現在・将来の学びのニーズにどのように応えるものであったか。

具体的な業務内容は以下のとおり。

(1) 準備期間（2019年4月中旬～下旬）

- ① 世界の医療団日本が提供する既存の文献・報告書等（事業計画書、月報、各種活動実績資料）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理・分析する。
- ② 上記でレビュー・分析した情報及び各プロジェクトのログ・フレームに基づき、事業の実績・達成度、事業実施プロセスを測るための調査項目と、データ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド（案）（和文、英文）を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべき情報を整理する。
- ③ 上記で作成した評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（受益者、現場スタッフ、現地パートナー団体、事業実施担当者）に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- ④ 本調査に関する検討会を実施・参加する。
- ⑤ 世界の医療団日本と現地訪問・各聞き取り調査の日時について日程調整を行う。

(2) 現地調査期間（2019年4月下旬～5月上旬）

- ① 聞き取り調査の対象者・団体に、調査の目的、趣旨、実施方法を説明する。
- ② (1)③で作成した質問票に基づく調査を実施し、事業実施現場を視察する。
- ③ 必要に応じて追加の聞き取り調査を実施する。

(3) 整理期間（2019年5月上旬～中旬）

- ① (1)②で作成した評価グリッドに基づき、データ・情報を整理し、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）・活動プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行う。
- ② 上記で収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
- ③ 調査結果を総合的に判断し、評価報告書（案）（和文）を取りまとめる。
- ④ 評価結果を世界の医療団日本に対し報告し、フィードバックを得て、評価報告書の最終版に反映させる。

8. 報告書など

評価報告書（和文）：5月15日迄

* 製本は簡易製本とし、電子データを併せて提出

9. 見積書作成に係わる留意点

航空賃及び宿泊料は契約に含みません。

10. 特記事項

(1) 現地情勢、社会背景：

- ① バングラデシュ政府の規定により、難民キャンプでの調査日数は最長で継続した5日。
- ② 現地調査を実施する時期はラマダンの時期にあたるため（5月5日～6月4日予定）現地の文化に配慮をすること。

(2) 業務実施体制：業務実施体制については、単独・チーム制のいずれも可能

(3) 便宜供与内容：

- ① 査証：MdM側で手配
- ② 航空券（日本-ダッカ-コックスバザール間）：MdM側で手配
- ③ 空港送迎：あり
- ④ 車両借上：必要に応じてMdM側で手配
- ⑤ 宿舎：MdM側で手配
- ⑥ 通訳：必要に応じてMdM側で手配